

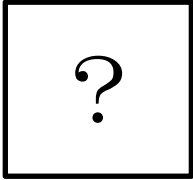


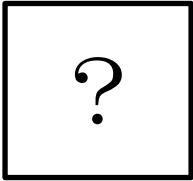


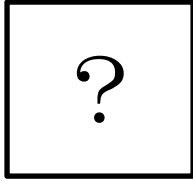


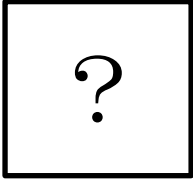
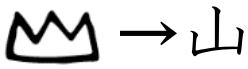
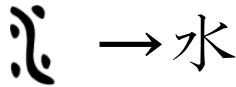
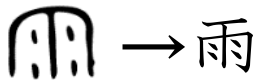

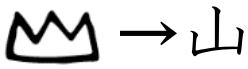
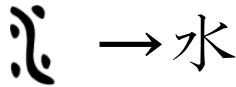
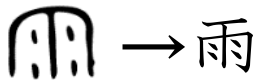
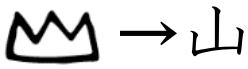
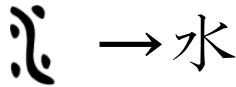
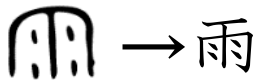


対象学年	5年	教科	国語	難易度	★☆☆☆			
単元	漢字の成り立ち							
課題	何の漢字だろう							
課題の説明	<p>①～④は、ある漢字の昔の形です。今は、どんな漢字になっているでしょう。予想をしてから、予想をした漢字で合っているかどうか、漢字辞典でたしかめましょう。</p> <p>①  →  → </p> <p>②  →  → </p> <p>③  →  → </p> <p>④  →  → </p>							
解決のヒント	<p>【ヒント1】 1年生の時にも漢字の成り立ちを学習しましたね。形をよく見て考えてみましょう。</p> <table border="1" data-bbox="320 1529 1378 1711"> <tr> <td> → 山 山のすがたから「山」</td> <td> → 水 水の流れる様子から「水」</td> <td> → 雨 雨がふる様子から「雨」</td> </tr> </table> <p>このように、目に見える物の形をえがいたものから作られた漢字を <b>象形文字</b> といいます。</p> <p>【ヒント2】 4年生で学習した漢字辞典の使い方を思い出しましょう。</p> <p>漢字辞典には「音訓さくいん」「部首さくいん」「総画さくいん」という三つのさくいんがついています。そのどれかを使います。</p> 					 → 山 山のすがたから「山」	 → 水 水の流れる様子から「水」	 → 雨 雨がふる様子から「雨」
 → 山 山のすがたから「山」	 → 水 水の流れる様子から「水」	 → 雨 雨がふる様子から「雨」						

例えば、漢字の「漢」を漢字辞典で引いてみましょう。

①「音訓さくいん」…読み方が分かっているとき

「漢」の読み方は「カン」だから、音訓さくいんの「か」のページをさがしていきます。

②「部首さくいん」…部首が分かっているとき

「漢」の部首は「さんずい」です。  
「さんずい」は三画だから、三画の部首の  
「さんずい」のページからさがしていきます。

部首は、へんやつくり、  
かんむりなどの部分が  
使われています。

③「総画さくいん」…読み方も部首も分からないが、総画が分かっているとき

「漢」の総画は「13画」だから、画数さくいんの  
13画のページをさがしていきます。

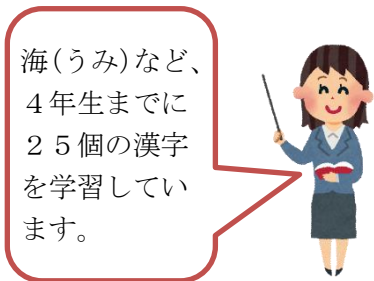
何画で書くかが、画数で  
す。一つの漢字の画数の  
合計を総画といいます。




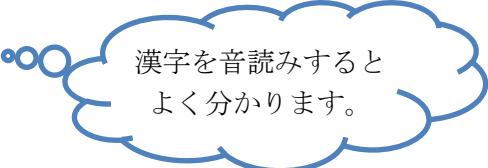

「漢字辞典」を使うときには、その漢字について何が分かっているかによって引き方を使い分けるようにします。


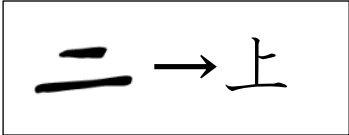
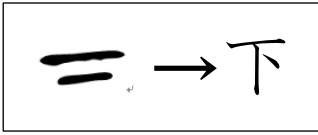




参考資料

教科書（光村図書 P34～35、東京書籍 P44～45）  
漢字辞典

対象学年	5年	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	漢字の成り立ち				
課題	漢字の成り立ちを知ろう				
課題の説明	<p>「氵」(さんずい)が使われている漢字を集めて調べよう。</p> <p>「氵」(さんずい)は水を表します。集めた漢字の中で、水に関係がないように思える漢字もあります。その漢字は漢字辞典で調べてみよう。</p> <p>①「氵」(さんずい)が使われている漢字を集めよう。</p> <p>②①の漢字の中で、水をイメージできる漢字(「海」のように)と、イメージできない漢字に分けましょう。</p> <p>③水をイメージできない漢字については、漢字辞典を調べて、その成り立ちを確認しよう。</p>				
解決のヒント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今使われている中では、水に関係していないように思える漢字も、その成り立ちを調べるともともとは水が関係しているよ。</li> <li>・漢字の成り立ちを知ると、漢字のことがよくわかるようになるよ。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>海(うみ)など、4年生までに25個の漢字を学習しています。</p> </div>				
参考資料	教科書(光村図書 P34~35、東京書籍 P44~45) 漢字辞典				

対象学年	5年	教科	国語	難易度	★★☆☆
単元	漢字の成り立ち				
課題	漢字の組み合わせを考えよう				
課題の説明	<p>下に線が引いてある漢字は、<sup>おん</sup>音を表す部分と、意味を表す部分からできています。</p> <p>どの部分が音で、どの部分が意味を表しているでしょうか。音を表している部分を□で囲みましょう。考えた後に、漢字辞典でたしかめましょう。</p> <p>① <u>河</u>口    ② <u>銅</u>像    ③ 来<u>週</u>    ④ 案内<u>板</u></p> <p>⑤ <u>絵</u>画    ⑥ 国<u>際</u>会議    ⑦ <u>味</u>覚    ⑧ <u>仕</u>事</p> <p>⑨ <u>議</u>員    ⑩ <u>標</u>識</p>				
解決のヒント	<p>それぞれの漢字を、部分に分けて読んでみよう。部分に分けて読んでみるとわかることがあるよ。</p> <p>これまで学習した「へん」や「つくり」などを思い出してみよう。「へん」や「つくり」などは、漢字の意味を表していましたね。その意味を表す部分と、音を表す部分を分けて考えてみましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>意味を表す部分（太陽・日時・気象・明暗などを意味する）</p> <p>音を表す部分（セイ）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>音を表す部分（ショウ）</p> <p>意味を表す部分（火が燃えていることを意味する）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>意味を表す部分（食べること、または食物を意味する。）</p> <p>音を表す部分（ハン）</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="margin-top: 40px;"> <p>このように、<sup>おん</sup>音を表す部分と、意味を表す部分を組み合わせた漢字を<sup>けいせい</sup>形声文字とといいます。</p> <p>漢字には、この形声文字がたくさんあります。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>				
参考資料	教科書（光村図書 P34～35、東京書籍 P44～45） 漢字辞典				

対象学年	5年	教科	国語	難易度	★★★☆☆
単元	漢字の成り立ち				
課題	漢字を四種類に分けよう				
課題の説明	<p>下に線が引いてある漢字を象形文字・指事文字・会意文字・形声文字の四種類に分けてみましょう。考えた後、漢字辞典でたしかめましょう。</p> <p>① <u>愛</u>犬    ② 年<u>末</u>    ③ <u>説</u>明    ④ <u>清</u>潔    ⑤ <u>絵</u>画    ⑥ <u>羊</u>毛</p> <p>⑦ <u>中</u>央    ⑧ <u>休</u>息</p>				
解決のヒント	<p>漢字の成り立ちには、大きく分けて下のように四つの種類があります。</p> <p>① <sup>しょうけいもじ</sup>象形文字 目に見える物の形を具体的にえがいたもの。 (例) 馬・山・門・火・手</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  </div> <p>② <sup>しじもじ</sup>指事文字 目に見えない事から、印や記号を使って表したもの。 (例) 上・下・三</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  </div> </div> <p>③ <sup>かいいもじ</sup>会意文字 漢字の意味を組み合わせたもの。 (例) 鳴・信・林・森</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>鳥 と 口 → 鳴</p> <p>鳥が口で声を出すので、鳴く</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>木 と 木 → 林</p> <p>木が2本集まって林</p> </div> </div> <p>④ <sup>けいせいもじ</sup>形声文字 <sup>おん</sup>音を表す部分と、<sup>い</sup>意味を表す部分を組み合わせたもの。 (例) 草・持・晴</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>草</b></p> <p>意味を表す部分</p> <p>音を表す部分 (ソウ)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>持</b></p> <p>意味を表す部分</p> <p>音を表す部分 (ジ)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; display: inline-block;"> <p>象形文字、指事文字、会意文字、形声文字、この四つの種類に分けてみましょう。</p> </div> 				
参考資料	教科書（光村図書 P34～35、東京書籍 P44～45） 漢字辞典				

対象学年	5年	教科	国語	難易度	★★★★
単元	漢字の成り立ち				
課題	漢字の成り立ちを使って、新しい漢字を作ろう				
課題の説明	漢字の成り立ちを使って、新しい漢字を作ってみましょう。 新しい漢字が作れたら、成り立ちについての説明も書きましょう。				
解決のヒント	<p>漢字は、中国から伝わってきたもの以外に、日本で作られたものもあります。そのほとんどが会意文字です。例えば、「峠（とうげ）」という漢字は、国字といって日本で作られた漢字です。峠とは、「山道を上りつめて下るところ」という意味で、山に上と下を合わせた会意文字です。また、「凧（なぎ）」も国字です。凧は「凧がやみ、波がおだやかになる」という意味で、凧と止まるを合わせた会意文字です。まずは、このような考え方で作ってみましょう。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>【読み】ひとで 【成り立ち】会意文字 水と星を組み合わせたもの。 水（海）の中にある星の形の 生き物はヒトデ。</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">渥</div> <div style="margin-right: 10px;">(例)</div> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 20px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>(例)にあるように、会意文字が作りやすいですね。 一つ作ることができたら、ほかの種類（象形・指事・形声）にも挑戦してみましょう。</p> </div> <div style="margin-left: 10px;">  </div> </div>				
参考資料	漢字辞典				